

的に空き家等を活用した移住・定住支援業務補助金。

Q 災害備蓄品購入費305万

6千円、何をどのくらい購入するか。

A 調理不要のカレー、800個、シチュー、200個、味噌汁、コーンスープ、ゼリータイプのエナジードリンク、保存用のお菓子、液体ミルク、ベビーフード、携帯用トイレ、大人用おむつ、子ども用おむつ、生理用品など。

Q 当初予算総額が100億円を

超えたが、今後も当初予算総額の増加傾向は続くと考えているか。

A 増加傾向もしくは100億円を超える規模は続いていくと考えている。

Q 自主財源比率が44億875

万4千円で42・8%、直近3年を見ても減少傾向にあるが

主要要因は。

A 自主財源比率は若干ここ数年減少傾向にはある。ただ今回税収は増えている。各所属とも努力をして増加させていくような取組はしている。協定に基づく地域振興費の減少等もある。自主財源の確保を維持しつつ、依存財源も積極的に活用していくという形で、今後も財政運営を乗り切っていければと考えている。

特別会計

国民健康保険

Q 高額療養費支給経費は202

5年8月ごろからは1月当たりの自己負担の上限を引き上げる方向が見えてきているが、今回の予算においてはその考え方を反映した予算づけか。

A 予算要求としては、実績をもとに試算をしているが、8月に改正される可能性の分については反映していない。

介護保険

Q 介護認定者等も含め、介護保

険事業はどのような状況で給付金が増加しているか。

A 令和4年度末の時点で950名。令和5年度末だと988名。徐々に認定者も増えてきている。それに伴い給付費も徐々に増加傾向にある。

後期高齢者医療

Q 後期高齢者医療保険料が3億

4,499万5千円。他会計繰入金3億2,090万千円。一般会計の繰出しという中、これを広域連合に95%納付しているような状況。この納付した金額のうちの48%は一般会計の数字になるが、今後の繰出金はどのような感じでいくと予想しているか。

A 一般会計からの繰り出しと繰入金の今後の見通しについてだが、背景としては、団塊の世

代が後期高齢者に入り、概ね落ち着いた。シミュレーションした結果次年度、また金額的には8年度付近がピークとして緩やかに人数が減少していくと考えている。

下水道事業会計

Q 埼玉県八潮市の下水道事故の

関係で、国が全国一斉に下水道管の点検を命じるような話も出ているが、これが仮に日の出町町内の下水道の点検工事が行われるとなると、このキャッシュフロー上、何か影響が出てくるか。

A キャッシュフローについては基本的に収益的収支に係るものであることから点検、修理維持管理的な部分については収支予算に係るので、当然のことながら相当な影響があると考えている。

*キャッシュフローとは入ってくる税金と出ていく税金の流れのこと。